

3

官庁訪問

3-1

事前準備 (p.16-19)

3-2

当日について (p.20-25)

1.内定者紹介
(p.3-8)

- ・内定者基本データ
- ・内定者プロフィール

2.公務員試験
(p.9-14)

- ・ワンポイントアドバイス
- ・勉強スケジュール

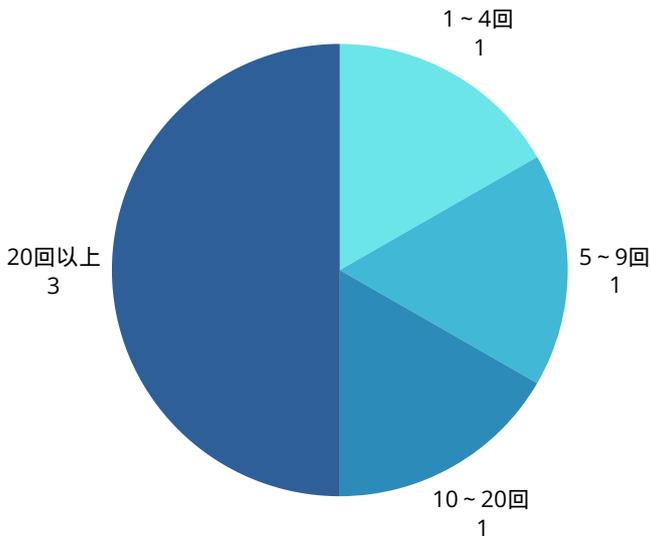
4.最後に
(p.26-29)

- ・就職活動を振りかえって
- ・メッセージ

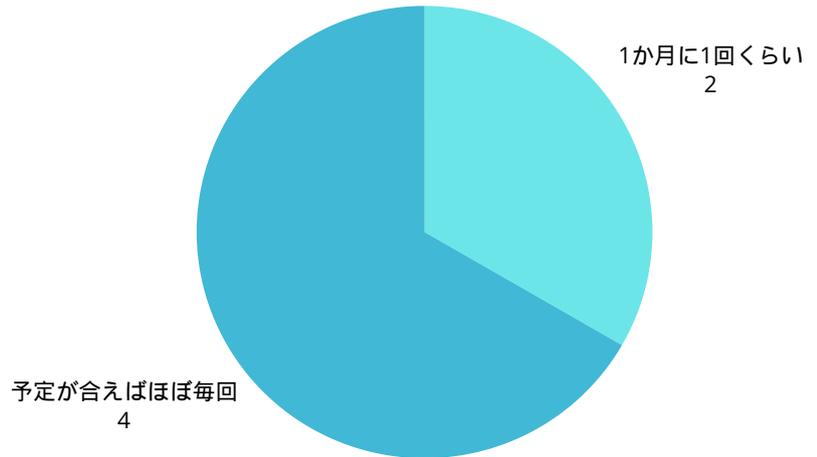
3-1

事前準備

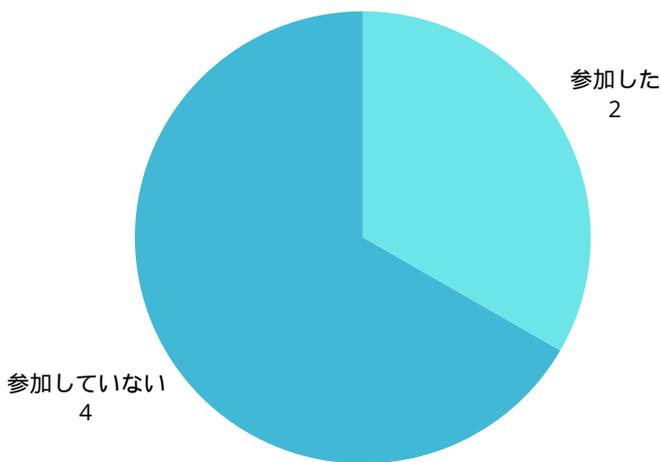
● 説明会の総参加数



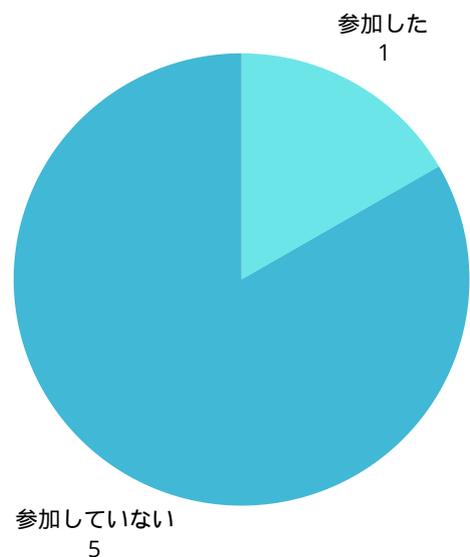
● 説明会に参加した頻度



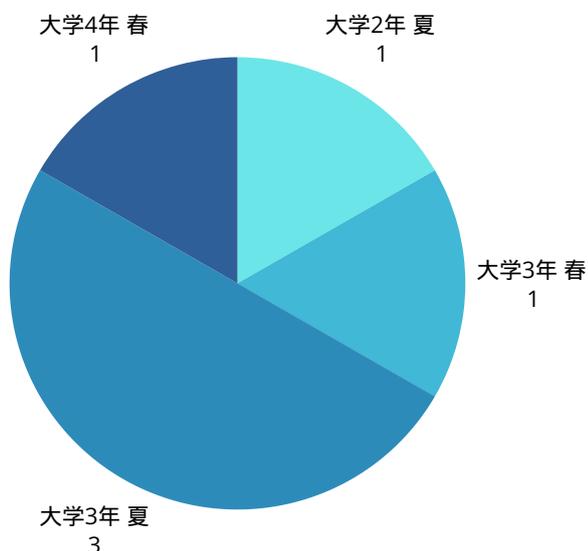
● インターンシップの参加状況



● 職員訪問の参加状況



● 初めて説明会に参加した時期



● 初めて説明会に参加したきっかけ

- あまり深く考えすぎずにとりあえず飛び込みました。
 - 人事院や大学生協が主催する大規模説明会で初めて説明を聞きました。
- ※初めて参加したイベントがインターンシップだった内定者もいました！

● インターンシップの内容

- コロナ禍のためオンライン開催でしたが、グループに分かれてディスカッションをしたり、業務説明を聞いたりしました。
- 職員の方との座談会もありました。個人的には、模擬事件審査や模擬相談対応のグループワークがとても印象に残っています。

● 職員訪問の内容

- フリーランス新法について興味があったため、その分野を担当している若手職員の方とお話ししました。官庁訪問についてもお聞きしました。

● 役立った事前準備

- 白書(公正取引委員会年次報告 独占禁止白書)を通読しました。
- 直近1年間の公正取引委員会に関係する新聞記事を集めて、記事をスクラップしました。公正取引委員会の政策に対する社説や論評を読むことも参考になりました。
- 直前期に日経電子版を契約していました。一般的な全国紙よりも公正取引委員会に関係する情報が多かった印象があります。
- 公正取引委員会が現在何に取り組んでいるかを一通り調べたことです。官庁訪問では、あまり関心がなかった分野を担当している方ともお話をすることが何回かあったため、その際にその分野について触れたことがあるかないかで話の内容や濃さも大きく変わると感じました。
- 実態調査に関心があったので実態調査の報告書を読んだり、今まで参加した説明会の内容を復習したりして政策を勉強しました。
- 原体験の振り返りや自己分析をしっかりとしたうえで面接練習をたくさんしました。官庁訪問本番では、あまり緊張せずにすらすらと志望動機が話せました。
- 各課室への逆質問をたくさん用意しました。逆質問だけの面接もあったので、用意した質問をフルに活用しました。
- 説明会に参加して情報を収集していました。また、それらに対して疑問点や自分の意見を考えてノートに書き出しました。
- 官庁訪問をする大学の同期を集めて、ES(エントリーシート)の確認や面接の受け答えの練習をしていました。

● あまり役立たなかった事前準備

- 官庁訪問では面接カードに忠実に沿った面接がなかったので、面接カードの一言一句について時間をかけて添削する必要はあまりなかったと思います。
- 想定問答集を作成しましたが、官庁訪問中に見返す時間はあまりなかったです。
- しなくてよかった事前準備はないです。無駄なことなんてない！

● 官庁訪問のESで気を付けていたこと

- 見本を確認せずにESを作成したら何ヶ所か間違えているところがあって、官庁訪問中に気づきました。きちんと見本を見ながら丁寧に書きましょう！！
- 結論から書くことを意識していました。教授や親などいろいろな人に見てもらった記憶があります。
- 就活の軸や理想とする社会像が併願官庁でも違和感ないか、自分の心に嘘をついていないかに気を付けて内容を検討しました。
- 枠が非常に狭いので簡潔にわかりやすく書くことを意識していました。
- 面倒くさがらずにできる限り早く書くようにしていました。

内定者に官庁訪問までの時期別スケジュールを聞いてみました。
今後のスケジュールを立てる際の参考にしてみてください。

1.あるまじろ(経済区分)の場合

- 試験勉強の進捗具合に焦る
 - 様々な省庁の説明会に参加する
 - 職員訪問に参加する
 - 民間企業のインターンシップに参加する
-
- 説明会に参加する省庁をある程度絞り始める
-
- 試験勉強を特に頑張る
 - 公務員のインターンシップに参加する
-
- 官庁訪問する省庁を決めて、その省庁の説明会にのみ参加する
 - 1次試験の本番を頑張る
 - 面接対策を始める
 - 民間企業の面接を受ける
-
- 官庁訪問する予定の省庁の説明会に参加する
 - 2次試験の本番を頑張る
 - 面接対策のみにシフトする
-
- 自己分析(志望動機)をやり直す
 - 新聞・白書などを読む
 - 説明会を振り返る
 - 知人と面接練習を繰り返す

2.アマリリス(教養区分)の場合

- 国家総合職教養区分に合格する
 - 春試験(技術系・一般職・地方公務員)に向けた勉強を始める
-
- 民間企業の就活を再開する
 - 省庁にいる知人や先輩に官庁訪問や省庁内でのお話を伺う
 - 説明会に参加し始める
-
- 民間企業から内々定を頂く
 - 公務員の就活にシフトチェンジをする
-
- 霞ヶ関OPENゼミ(人事院主催の大規模説明会)をきっかけに全ての省庁の説明会に参加する
 - いくつかの省庁の職員訪問に参加する
-
- 国家公務員としての志望理由を詰める
 - 併願先の試験を受ける
-
- 大学キャリアセンターや知人の協力を得て面接対策を行う
 - 訪問する省庁を選定する

12月

1月

2月

3月

4月

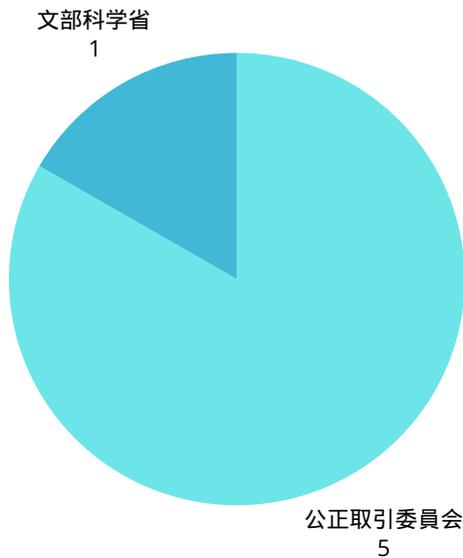
5月

※2024年度の官庁訪問は6月12日～6月24日で行われました。

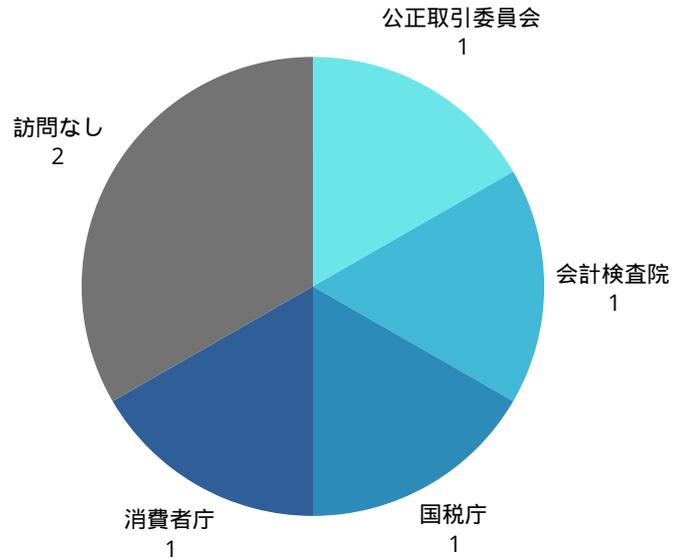
3-2

当日について

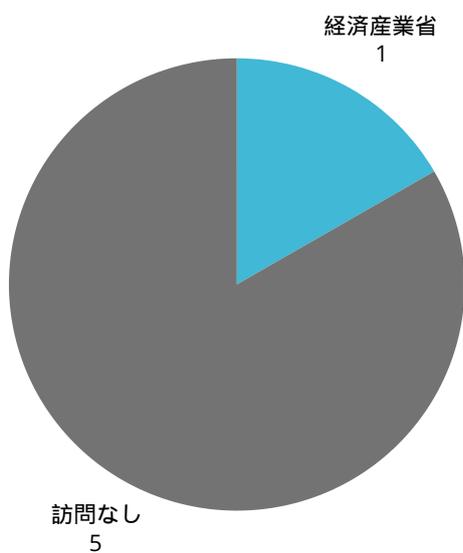
● 第1クール1日目の訪問状況



● 第1クール2日目の訪問状況



● 第1クール3日目の訪問状況



コラム：訪問数の正解は？

官庁訪問は基本的に省庁を3つまで訪問することができます。機会を最大化するために3つ訪問する人もいれば、対策にかかるコストを考慮して数を絞って訪問する人もいます。筆者は予約の段階では3つ訪問する予定でしたが、実際には3日目を欠席しました。理由は以下の2つです。まず、体調が万全でなかったことです。緊張が続く日々体が耐えきれませんでした。あとは、日程的に休みがないことです。土日には他の試験、週明けからは官庁訪問となると、休息や面接対策のため時間が必要でした。訪問数に正解はないので、ぜひ戦略を立ててみてください。

● 他省庁の訪問状況とその理由

- 2日目に消費者庁を訪問しました。私たちが必ず関わる消費者問題に、様々な省庁と連携して取り組むことに魅力を感じたからです。
- 2日目に国税庁を訪問しました。公正な社会を目指すという点が公正取引委員会と共通していたからです。
- 2日目に会計検査院を訪問しました。公正な社会の実現を目指すという点と、対象が特定の分野に留まらないという点が公正取引委員会と共通していたからです。
- 1日目に文部科学省を訪問しました。文化活動に携わった経験から、文化・科学技術分野が効果的・経済的に活用されていない面を改善したいと考えたからです。
- 3日目に経済産業省を訪問しました。民間企業の就活を経て多くの企業の方と話した体験から、日本の国富増大のためにより広い視点から経済を回すことを考えたいと感じたからです。
- 公正取引委員会以外は訪問しませんでした。総合職に縁がなかった場合は一般職でリベンジしようと思っていました！

● 当日の持ち物

- 資料(白書、パンフレット、説明会で取ったメモ、ES、パソコン、面接対策のメモ、印刷した新聞記事)
- 筆記用具(鉛筆、ノート、ルーズリーフ、メモ帳)
- 食料(弁当、お菓子、ゼリー、飲み物)



● 待機時間の雰囲気

- 堅苦しい雰囲気はなく、初日から訪問者同士の会話がありました。面接後には、どんな話を聞いたかななどの情報交換がありました。
- 面接内容の共有や雑談があり、非常に良い雰囲気でした。
- クールが進むごとに訪問者同士の仲が良くなり楽しくなりました。
- とても和やかでした。面接で聞かれたことや面接官の属性、政策知識などを共有していました。官庁訪問は長丁場だったので、訪問者同士で交流できたことはとてもよかったです。



Q 服装は本当にクールビズで大丈夫ですか？

官庁訪問
Q&A①

A はい！大丈夫です！筆者をはじめ訪問者のほとんどが第1クールから第4クールまで、白のYシャツに黒のスーツのズボンを着ていました。少数派ではありましたが、ジャケットを着用している人もいました。

● 待機時間にしていたこと

- 面接を振り返り、内容や感想をノートに書き出していました。
- 面接で知った新事実について自分なりに調べていました。
- パンフレットを読み込んでいました。
- 他の訪問者と情報交換や雑談をしていました。
- お菓子をもぐもぐしていました。
- 次の面接の想定をしていました。

● 面接の雰囲気・感想

- 小部屋で1:1の対談をしました。どの職員の方も気さくに接してくださりました。
- 想像以上に色々な事をお聞きすることが出来たので楽しかったです！
- 厳かな雰囲気はなく、日常の会話をするような感じでした。職員の方から経歴と現在の業務について説明され、こちらからそれに関連した質問をするという流れでした。政策について、自分の考えを聞かれることもありました。
- どの職員の方も優しくかったです。私が曖昧な質問をしてもしっかりとした答えが返ってきて、職員の方への憧れが強まりました。
- 面接官の方はにこやかで、はきはきしている方ばかりでした。部屋は取調室や窓のない会議室が多く、少し重苦しい印象でした。面接の内容は、逆質問のほかに、学生時代に力を入れたことや志望理由についての深掘り質問も多かったです。
- 楽しかったです。少し難しい質問もありましたが、自分の意見を伝えたら、しっかりとフィードバックしていただけたのでとても勉強になりました。

● 印象に残った質問

- 総合職として働く覚悟はありますか？
- 今の日本の経済状況についてどう思いますか？
- 公正取引委員会をどんな組織にしていきたいですか？
- なぜあなたが公正取引委員会の総合職職員でないといけないのですか？



Q 地方在住です。こういったスケジュールでホテルを予約しましたか？

官庁訪問
Q&A②

A 第1クールの日程を予約し、土日は地元の自治体の試験を受けに実家に帰りました。その後、第2クールから第4クールまでは1週間連続でホテルを予約しました。

● 面接で評価されていると感じたところ

- 公正取引委員会に対する熱意や政策について広く興味を持って調べている点です。あとは、職員の方との会話を楽しんでいた姿勢だと考えています。
- 相手の話をしっかり聞くことや自分の考えを一生懸命伝えることなど、面接の内容より面接に臨む態度を評価されていると感じました。
- 志望理由が明確であったところが評価されていたと思います。とくに、他省庁ではなくて公正取引委員会であればいけない理由を面接官が納得するように説明できるかは重視されていると感じました。
- 一般に政策知識の優先度は低いとは言われますが、政策知識があればあるだけ評価はしてもらえと思っています。

● 大変だったこととその乗り越え方

- 慣れないホテル生活でひどい時は一日一食の生活をしていたので、食事はきちんと取ったほうが良いと思います。
- 精神的に疲れたので、美味しいご飯を食べてしっかり寝ました。
- 待合室が意外と暑くてのどが渇きました。庁舎の自販機を利用することができたのでたくさん飲み物を買いました。
- 連日の満員電車は辛かったです。音楽を聴くことで気分を上げて乗り切りました。
- 緊張でお腹にガスが溜まったことです。炭酸飲料を飲んで乗り切りました。
- 待機中はメンタルがしんどかったです。面接は楽しかったので面接で回復していました。

● 官庁訪問中にしていて効果があったこと

- 他の訪問者とよく話したことです。情報共有できたことはもちろん、緊張をほぐせたのでよかったです。
- 朝ご飯をしっかり食べたことです。
- 面接した職員の方の名前を覚えていたことです。面接で今までの面接内容や印象に残ったことを答えるときに焦らなくて済みました。



Q 地方在住です。どこのホテルに宿泊していましたか？

官庁訪問
Q&A③

A 六本木のアパホテルに宿泊していました。同じようにアパホテルに泊まっている知人は多かったです。個人的には、湯船に浸かって疲れをとることができるので、大浴場がついているホテルがおすすめです。

● 後悔していること

- クールビズでよいと聞いていたのですが、心配でジャケットを持っていきました。ですが、職員の方が脱いでいいと言ってくくださったので、初めから持っていかなくてよかったなと思っています。
- 4月中旬まで筆記試験の勉強に専念して本格的な官庁訪問対策が5月からとぎりぎりだったことです。なんとか間に合いましたが、年明けから官庁訪問を見据えて官庁訪問対策に少しずつ取り組むべきだったと思います。
- 緊張してたくさんトイレに行って、その度に手を洗ってハンカチがびしょびしょになってしまったので何枚か持っていけばよかったと思いました。
- 部署ごとにどんなことをしているのかをしっかりとインプットしておくべきでした。

● 官庁訪問の注意点

- 過度に緊張しすぎず、リラックスして臨むことが大事だと思います。私も官庁訪問前には、他の訪問者の状況が分からず、精神的に不安定でした。振り返ると過度に不安になっていただけだったと思います。
- 志望動機がとても重要視されている気がしたので、しっかりと志望動機を固めるべきだと思います。
- 集合時間の10分前に到着したらほとんど席が埋まっていました。早めに来るべきだと思います。
- 昼休憩の時間以外はコンビニに行ける雰囲気ではないので、間食やその他の必要なものはお昼にまとめて買うべきだと思います。
- 面接ごとに荷物を全部持って移動するので、待合室で荷物を広げすぎないほうがいいと思います。
- ポケットサイズのメモ帳はすぐ取り出せて便利ではありましたが、1日で使い切ってしまううえに見返しづらいのでノートの方がいいと思います。



官庁訪問 Q&A④

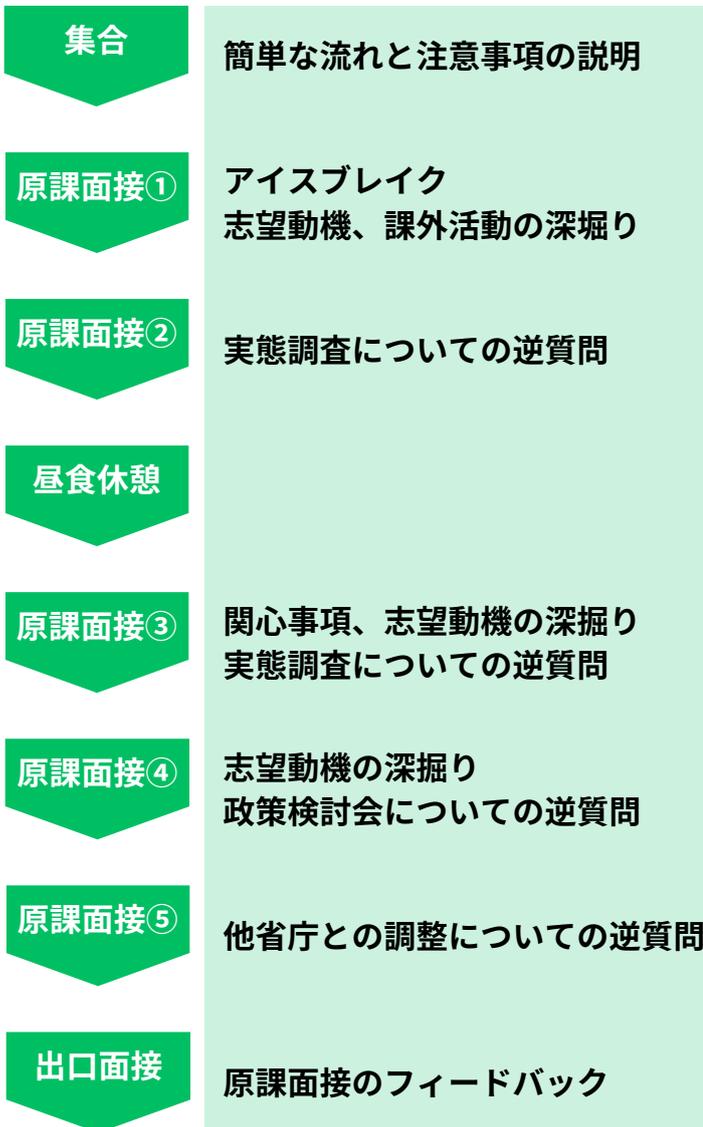
Q

あまり説明会に参加できていません。
こんな状態で官庁訪問に行っているのか少し不安です…。

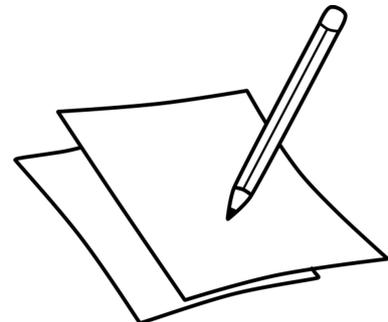
A

説明会の総参加回数が少ない内定者もいるので安心してください。
公正取引委員会の官庁訪問では事前の取り組みではなく、官庁訪問当日のパフォーマンスが評価されていると感じました。
採用過程においても「公正で自由な競争」が守られています。

● 官庁訪問の実際の流れ(第1クール)



● 官庁訪問の実際の流れ(第2クール)



Tips

- 原課とは特定の政策分野を担当している部署のことです。今年度の官庁訪問は原課面接がほとんどでした。
- 原課面接では、面接カードに記入した入局して関わりたい業務と関連のある部署の方のお話をたくさん聞くことができました。
- 昼食は食堂やコンビニ、弁当屋などから選べましたが、コンビニで買ったものを待合室で食べる人が多かったです。
- 面接の回数や内容には個人差がありました。上記のスケジュールはあくまで一例です。